

しろやぎさんからの手紙

病児の保育しろやぎさんのポシェット

NO. 34 2019年5月

平成がおわり、新しい時代 令和がはじまりました。いまの、そしてこれからのこども達が、生きていく新しい時代です。大型連休も終わり、季節は春から初夏へと向かいます。さわやかな風に、暖かな日差し。お外遊びやお散歩が楽しい季節ですね。

《春なのにRSウイルス?》

GW前に複数の保育園でRSウイルスの流行がみられました。従来、RSウイルスは主に冬(秋から初春)に流行る病気と考えられてきましたが、近年、夏季や春にも各地で大規模な流行が散見されます。RSウイルスは急性呼吸器疾患(いわゆる風邪や気管支炎や肺炎など)を引き起こすウイルスで、感染した人の鼻水や唾からうつります。

RSウイルスにかかると、鼻水、軽い咳、発熱などの風邪症状で始まり、大人や年齢の大きな子どもがかかったとしても、風邪症状が早く終わりますが、年齢の小さな乳幼児が感染すると37~40℃の発熱が上がったり下がったり数日間続いたり、ゼイゼイする咳が1週間ほど続いたり、呼吸が苦しくなったりします。



抗ウイルス薬などの治療はなく、症状を和らげる対症療法が中心となります。赤ちゃんや、喘息や心臓病などの基礎疾患をお持ちのお子さんが感染すると重症化する場合があります、注意が必要です。また、高齢者においても重症の下気道炎を起こす原因となることが知られています。

RSウイルスは非常に感染力が強く、ウイルスがおもちゃなどに付着してから4~7時間は感染力を持っているといわれています。日ごろから、外出の後や食事の前、鼻をかんだ後などは、石鹸でよく手を洗う習慣をこども達に教えたいですね。また、保育所や幼稚園、小学校では、「咳エチケット」が大切です。マスクはしっかり”お鼻までカバー”！大切です。

流行状況 (2019.4/1~4/30) 対象: 当院受診検査陽性者

	市内		市外	
	未就学児	就学児	未就学児	就学児
溶連菌	164	78	99	77
RSウイルス	7		9	
水痘			3	2
アデノウイルス	2		1	
メタニューモウイルス	9		3	
手足口病・ヘルパンギーナ	2		1	
伝染性紅斑(りんご病)		1		2
インフルエンザ A		1	1	
ロタウイルス	2			

咳エチケットについて

「咳エチケット」って言葉、どこかで聞いたことがあるかと思いますが。くしゃみや咳が出る場合はティッシュで鼻と口を押さえたり、マスクをつけたり、手や服の袖などで鼻と口をカバーします。その場合、ティッシュはすぐに捨てて、カバーした手はきちんと洗いましょう。たかが、風邪と思ってもらえど風邪。前記のRSウイルスなど、小さな子ども達にとっては深刻な事態をもたらすこともあります。周りの人に病気をうつしたり、逆にもらってしまったり、お互いに嫌な思いをしたりさせたりしないためにも、こども達には小さな頃から咳エチケットを身につけさせたいものですね！小さいお子さんに、体調が悪くなってからはじめてマスクを付けさせようとすると嫌がってしまうことがあります。体調とご機嫌が良い時に練習をしておく、いざという時にスムーズにできることが多いですよ。



マスクから鼻が出ている



しっかり鼻までカバーできている



マスクから口も鼻も出ている

マスク選び

咳エチケットにはガーゼマスクではなく不織布の使い捨てマスクが好ましいとされています。色柄がかわいいマスクがたくさんありますね！お子さんに嫌がらずにマスクをつけてもらうには、お子さんのお顔に合ったサイズを選んであげることが大切です！きちんと鼻と口を隙間なく隠してあげられるものがベストです！

今月の遊び紹介

フサフサ鯉のぼり

【材料】

紙コップ、カラーセロハン折り紙、丸シール、ストロー、カラービニール紐

【作り方】

- ① 紙コップの底をくり抜いて、ストローが通せる穴を開けます。
- ② ①にストローを通します。
- ③ コップにカラーセロハン折り紙でウロコを貼ります。シールで目を付けます。
- ④ 尻尾にカラービニール紐を付ると出来上がり。尻尾が風に揺れると、とってもいい感じ！。



お問い合わせやご相談は
那珂キッズクリニック小児科
病児の保育しろやぎさんのポシェット

Tel: 090-2542-5630